



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月9日

上場会社名 三光産業株式会社
 コード番号 7922 URL <http://www.sankosangyo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務・経理担当
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 石井 正和
 (氏名) 高橋 光弘
 TEL 03-3403-8134

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	2,441	20.7	99		93		114	
2019年3月期第1四半期	3,079	33.9	7		37		30	

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 102百万円 (%) 2019年3月期第1四半期 45百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	18.44	
2019年3月期第1四半期	4.85	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	10,777	8,193	76.0
2019年3月期	11,083	8,339	75.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 8,193百万円 2019年3月期 8,339百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		7.00	7.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	1.8	30		10		230		37.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の連結業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	7,378,800 株	2019年3月期	7,378,800 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	1,185,857 株	2019年3月期	1,185,857 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	6,192,943 株	2019年3月期1Q	6,192,943 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く一方、企業の業績には陰りが見られ、海外においては米中貿易摩擦や欧州における政治問題等、不安定な世界情勢が続いており、先行き不透明な状況で推移いたしました。

印刷業界においては、日本国内の印刷需要が減少するなか受注競争による単価の下落、また、海外においても現地企業との受注競争の激化等、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと当社グループは、「新・中期経営計画（2020年3月期～2022年3月期）」初年度にあたり、「顧客企業における最高のサプライヤーになる基盤を整備する」を経営の基本方針に掲げ、成長に向けた新たなチャレンジによる売上の拡大と効率化の推進による収益の改善に取り組んでまいりました。

しかしながら、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,441百万円（前年同期比79.3%）と減収となりました。

利益面につきましては、減収に加え、売上原価率の上昇により、営業損失は99百万円（前年同期は7百万円の営業損失）となり、受取配当金等の計上はありましたが経常損失は93百万円（前年同期は37百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は114百万円（前年同期は30百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① 日本

パネル関連製品の幅広い営業展開と、シール・ラベル等の受注確保のため既存取引先の深耕のほか食品関連等の新規分野への営業展開を積極的に行い、製造面については、歩留率の改善及び内製化による効率化を重点的に進めてまいりました。

しかしながら、パネル関連製品を中心に得意先受注の一部が第2四半期連結会計期間以降にずれ込んだこと等により、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,165百万円（前年同期比94.4%）となり、セグメント損失は18百万円（前年同期は17百万円のセグメント利益）となりました。

② 中国

中国セグメントにつきましては、中国深圳市における油性系インキの使用禁止等の環境規制の厳格化により、当社製品の製造が困難な状況になっており、受注が大幅に減少いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は122百万円（前年同期比20.3%）となり、セグメント損失は62百万円（前年同期は38百万円のセグメント損失）となりました。なお、中国セグメントに所属する連結子会社は、光華産業有限公司及び燦光電子（深圳）有限公司であります。また、連結子会社燦光電子（深圳）有限公司については、2019年8月を目的に製造工場を閉鎖し、今後は販売会社として国内のグローバル営業部及び生産提携先との連携を強化し、中国市場における業績の安定化を目指してまいります。

③ アセアン

アセアンセグメントに所属する連結子会社サンコウサンギョウ（マレーシア）SDN. BHD.、サンコウサンギョウ（バンコク）CO., LTD. 及びサンコウサンギョウ（ベトナム）CO., LTD. につきましては、日本国内外からの営業面・製造面の支援を受け、積極的な営業活動及び製造工程の改善等を図っております。

しかしながら、シール・ラベル製品を中心に受注が減少し、当第1四半期連結累計期間の売上高は153百万円（前年同期比85.1%）となり、セグメント損失は13百万円（前年同期は2百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は10,777百万円となり、前連結会計年度末比306百万円減少いたしました。これは、主に売上債権の回収により現金及び預金は173百万円増加いたしました。受取手形及び売掛金並びに電子記録債権が410百万円減少したことによるものであります。

負債総額は2,584百万円となり、前連結会計年度末比160百万円減少いたしました。これは、主に支払手形及び買掛金が70百万円、並びに賞与引当金が45百万円減少したことによるものであります。

また、純資産総額は8,193百万円となり、前連結会計年度末比146百万円減少いたしました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純損失の計上並びに親会社による配当金の支払により利益剰余金が157百万円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は76.0%（前連結会計年度末は75.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で2019年5月13日付公表の決算短信に記載した業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,465,043	2,638,668
受取手形及び売掛金	3,402,242	2,990,729
電子記録債権	559,865	561,227
商品及び製品	311,573	479,450
仕掛品	158,005	167,782
原材料及び貯蔵品	157,510	158,733
その他	311,112	114,179
貸倒引当金	△2,417	△460
流動資産合計	7,362,935	7,110,310
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,715,032	2,726,794
減価償却累計額	△1,844,370	△1,864,700
建物及び構築物(純額)	870,662	862,093
機械装置及び運搬具	2,809,374	2,800,792
減価償却累計額	△2,345,085	△2,356,170
機械装置及び運搬具(純額)	464,288	444,621
工具、器具及び備品	230,292	233,601
減価償却累計額	△188,254	△191,625
工具、器具及び備品(純額)	42,037	41,976
土地	1,282,606	1,283,609
リース資産	59,574	59,574
減価償却累計額	△25,539	△27,715
リース資産(純額)	34,034	31,858
有形固定資産合計	2,693,629	2,664,159
無形固定資産		
ソフトウェア	6,310	5,931
ソフトウェア仮勘定	-	3,750
無形固定資産合計	6,310	9,681
投資その他の資産		
その他	1,054,294	1,023,158
貸倒引当金	△33,312	△29,538
投資その他の資産合計	1,020,982	993,619
固定資産合計	3,720,922	3,667,460
資産合計	11,083,858	10,777,770

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,027,925	1,957,474
未払法人税等	36,699	10,422
賞与引当金	101,000	55,696
その他	274,107	272,628
流動負債合計	2,439,732	2,296,222
固定負債		
長期未払金	853	853
退職給付に係る負債	235,878	231,146
その他	67,972	56,145
固定負債合計	304,703	288,145
負債合計	2,744,435	2,584,367
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,850,750	1,850,750
資本剰余金	2,277,951	2,277,951
利益剰余金	4,919,844	4,762,283
自己株式	△1,013,866	△1,013,866
株主資本合計	8,034,679	7,877,118
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	350,349	351,178
為替換算調整勘定	△45,606	△34,893
その他の包括利益累計額合計	304,742	316,285
純資産合計	8,339,422	8,193,403
負債純資産合計	11,083,858	10,777,770

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	3,079,376	2,441,746
売上原価	2,588,343	2,057,962
売上総利益	491,033	383,783
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	205,021	196,863
賞与引当金繰入額	35,496	34,811
退職給付費用	11,590	11,608
福利厚生費	49,038	41,632
その他	197,319	198,720
販売費及び一般管理費合計	498,466	483,636
営業損失(△)	△7,432	△99,852
営業外収益		
受取利息	651	811
受取配当金	12,707	13,245
為替差益	24,971	-
貸倒引当金戻入額	4,167	5,731
その他	2,931	2,135
営業外収益合計	45,428	21,923
営業外費用		
賃貸建物減価償却費	135	136
為替差損	-	14,828
その他	9	269
営業外費用合計	145	15,234
経常利益又は経常損失(△)	37,850	△93,163
特別利益		
固定資産売却益	18	631
特別利益合計	18	631
特別損失		
固定資産処分損	0	-
投資有価証券評価損	-	25,765
特別損失合計	0	25,765
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	37,868	△118,297
法人税、住民税及び事業税	8,100	2,000
法人税等調整額	△284	△6,087
法人税等合計	7,815	△4,087
四半期純利益又は四半期純損失(△)	30,052	△114,210
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	30,052	△114,210

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	30,052	△114,210
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	52,993	829
為替換算調整勘定	△37,730	10,712
その他の包括利益合計	15,262	11,542
四半期包括利益	45,315	△102,668
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	45,315	△102,668
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	日本	中国	アセアン	合計
売上高				
外部顧客への売上高	2,294,794	604,496	180,086	3,079,376
セグメント間の内部売上高 又は振替高	112,828	194,233	952	308,014
計	2,407,622	798,730	181,038	3,387,391
セグメント利益又は損失(△)	17,058	△38,543	△2,521	△24,006

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△24,006
セグメント間取引消去	16,574
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△7,432

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	日本	中国	アセアン	合計
売上高				
外部顧客への売上高	2,165,688	122,774	153,282	2,441,746
セグメント間の内部売上高 又は振替高	218,410	290,388	2,052	510,850
計	2,384,098	413,163	155,335	2,952,597
セグメント損失(△)	△18,705	△62,361	△13,464	△94,531

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	△94,531
セグメント間取引消去	△5,320
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△99,852

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（重要な後発事象）

中国事業の縮小

当社は、2019年4月22日開催の取締役会において、当社の連結子会社であります燦光電子（深圳）有限公司の製造工場（以下「深圳工場」といいます。）を閉鎖し、販売会社化することを決議しており、現在、閉鎖および販売会社化に向けて手続きを進めております。

（1）事業縮小の理由

中国政府の環境規制の厳格化により深圳地区での印刷物製造が困難となったことから深圳工場を閉鎖するに至りました。中国国内における印刷物販売を今後も継続するために、深圳地区において販売会社化する手続きを進めております。

（2）事業縮小の内容

1. 工場の閉鎖

深圳工場の閉鎖に伴い、現住所地から移転し、深圳地区にて販売会社として活動いたします。

2. 人員の縮小

2019年8月31日までに全従業員155名（日本からの出向者を除く。）との雇用契約を解除し、今後の販売会社としての活動に必要な人員を数名再雇用する見込みであります。

（3）閉鎖の時期

2019年8月31日

（4）当社業績に与える影響

雇用契約解除に伴い、中国の法律に基づき退職者への経済補償金の支払いを行いますが、詳細につきましては現在精査中であります。